

01 スケジュール

日時 2025年 2月14日～16日

実施国 フランス（パリ）

会場 PARIS MONTREUIL EXPO 展示会場

イベント名 「セボンルジャポン」

参加者 ・株式会社イースト ・カネブン青果
・ GLO-berryJapan ・陽地株式会社（感染症にて不参加）



概要

販促対象青果物

メロン（クラウン）

数量 1箱 9KG

・これまでの現地調査にて、フランスでのマスクメロンに対する認知度はそれほど高くなく、

日本での印象(甘い、高級な果物)のような見受けられなかった。
その点を踏まえ、日本産果物として今後認知度を高めていくことで、より日本産果物に対して質の高さや美味しさ等ブランディングしていけると考えている。



概要

試食フィードバック

- ・初めは他の販促青果物に比べて、あまり目立たない印象であった。
- ・中国系の来場者がメロンに対し好印象で、美味しさに感激している姿を見て、フランスの方も注目し、試食が進んでいった。
- ・これまでのメロンとは別格の美味しさである、甘味がしっかりあって美味しい（来場者コメント）



A:EU いちご（とちおとめ・あまりん）りんご（ムーンルージュ）メロン（クラウン）
ブドウ（シャインマスカット）柿（富有・干し柿）さつまいも（シルクスイート）

2月614（陽地株式会社）

概要

セボンルジャポン 報告を受けて

今回は弊社担当者の感染症にて不参加となり、当初販促予定であった青果物の一つメロンのみの提供であった。メロンに関してはこれまでの認知度の低さから、今後の伸びしろが期待される果物として、今後も展開していきたい果物である。

参加者からのフィードバックからは、予想以上に今回のメロンの味の評価が高く、既にフランスに根付いているメロンのイメージを覆す機会を提供できたと感じている。

今後の展開として、日本産メロンとしてのさらに認知度を広めるべく、小規模の販路開拓活動ではなく、今回のようなイベント出展が望ましいと考えている。そのためには、メロンの鮮度保持や輸送コスト等課題があり、来年度は農家との連携、流通関係者との輸送に対する研究等を進め、スムーズな輸出事業展開に繋げていきたい。